

留学先国名 : アメリカ

留学先学校名 : エドモンスコミュニティカレッジ

留学期間 : 平成 26 年 4 月 7 日 ~ 平成 28 年 2 月 1 日

10ヶ月のシアトルでの留学生生活を無事に終えることができました。長いようでとても短く感じた留学生活はあっという間の時間でした。日本では出来ないチャレンジをし、沢山の刺激を受けながら生活しました。特に、ホストマザーには多くのことを教わりました。私のホストマザーは毎週教会に通っており、時間を見つけては一緒に通いました。そこで教わった考え方・そこで出会った素晴らしい人々の影響で毎回足を運ぶ度に、自分の中で少しずつ考え方が変わっていった気がしました。私はキリスト教ではなかったのですが、どんな宗教の方でもどんな時も、歓迎の姿勢を示してくれ温かく迎えてくださりました。歌・聖書を通して日々感謝することの大切さや周りの方々に支えられて毎日幸せに暮らすことが出来ているということを常に考えられるようになった事、小さな出来事に喜びや幸せを感じられるようになりました。また、人種・異なる言語・宗教など関係なく相手を受け入れる・尊敬の姿勢を示すという部分がとても魅力的だと感じました。教会で出会った方々と、ボランティア活動に積極的に参加しました。渡米した当初、ホームレスの方の多さに非常に驚き、私にもなにか出来ることがあるのではと思ひ機会を探していました。その際に、ホストマザーがボランティア団体に所属していることを耳にし、ぜひ参加したいということを伝えました。主に食事の配膳を任されていたが、配膳をしている最中に今まで見たことのないような表情を多々目にしました。多くの方々が久しぶりの食事に目を輝かせ興奮している様子や、食事を巡って争っている様子など日本にいた時には、見たこともない光景でした。こんなにも苦しい生活をなさっているという現実を見たと同時に心が痛くなりました。また配給後、建物から出ると数えきれないほどのホームレスの方が道路に座っていたり、横になっていたりと大変苦しい状況を目の当たりにしましたが、私に出来ることを続けて行こうという気持ちが芽生えました。ある日ホームレスの男性の方と話をする機会がありました。その男性も毎日生きて行くのさえも苦しい状況の様子でしたが、自分のことよりも周りの仲間のことを第一に考えていらっしゃいました。例えば何か食べ物を得た際には、仲間に分けていらっしゃいました。自分のことを優先したい気持ちもちろんあったはずですが、彼は周りのホームレスの方の気持ちを考えると自分だけ食べることは出来ないとおっしゃっておりました。苦しい状況にもかかわらず、周りの方にも気を配り、励まし合って生きて行こうとする姿勢にとっても感動しました。

配膳のボランティアを続けながら、衣類や毛布の寄付の呼び掛け・寄付された物をホームレスの方々へお配りする活動も行いました。始めた当初は、わずかな寄付しか集めることが出来ずにいました。けれども、近所の方々や教会などで呼び掛けを行った効果で、3倍の量の衣類を集めることに成功しました。特に路上で寒さを防ぐのには大変欠かせない毛布は、少々集めるのに苦労しましたが、子供がすでに大きくなった家庭などを中心に呼びかけた結果、多くの方々に配ることが出来ました。10カ月という短い間しか参加出来ませんでしたが、ボランティアを続ける中で得たことが多くありました。多国籍の方と交流し異文

化を学んだこと・皆で力を合わせたことで大きな力となりチームワークの大切さを学んだことなど、私にとってこれらは大きな財産となるのではないかと思います。特に、活動を始めた当初は、周りの方の英語を理解する事・輪の中に入ることが少し難しく感じましたが、英語・ボランティア活動どちらも楽しんで行ったことで、次回も参加しようという気持ちになっていきました。教会で、ボランティア活動を行っていることを述べると、参加したいと言ってくれる方が増え、どんどんチームが拡大していきました。私に出来る最大限のことを今後も続けて行こうと思います。

勉強面では、葛藤した10カ月となりました。留学前は机に向かって勉強するというスタイルでしたが、渡米し、教科書や学校で習ったことをインプット・アウトプットしていくということが最も大事な事だと気づきました。最も苦手としていたスピーキングを、この10カ月の間特に力を入れたので、今では英語を使って会話をすることが大好きになり、渡米前と比べると自信を持って話をする事が出来るようになったのではないかと思います。またTOEICにも力を入れて取り組みました。リスニングでは、CDを何回も覚えるくらい聴き、発音の練習も兼ねてシャドーイングを行いました。特に点数が伸び悩んだリーディングでは、洋書を沢山読み、単語を数多く覚えたことと長文に慣れるということに重点を置きました。帰国前の最後のTOEIC受験では過去最高点数をとることができました。グローバル化が進む中英語が必ず必須となってくるので、今後も英語学習を続け、東京オリンピックの際には社会に貢献出来るようスキルを磨いていきたいです。